【米田主宰の俳句】

冬　椿

米田規子

ぼんやりと過ぎゆく一と日木の実降る
一病を得て南天の実の真っ赤
冬日向プラットホームの固い椅子
父の声ははのこえ聴き白山茶花
満月にうさぎを探す術後かな
病室の四人湘南の冬ぬくし
眠る山いのちひとつを持ち帰る
湧き上がる力いま欲し冬椿
短日のアールグレイと電子辞書
赤い靴棚にねむりてクリスマス